

陳情第 6 号

陳 情 書



令和4年11月21日

霧島市議会議長 阿多 己清 殿

陳情者

霧島市子どもの医療費窓口無料化を求める会 会長

住所 鹿児島県霧島市国分中央三丁目38-28

氏名 玉江 未広

霧島市の子どもの医療費窓口無料化を求める陳情書

陳情事項

- 1 鹿児島県へ、子どもの医療費助成に関する窓口負担のあり方を見直し、中学校卒業までの完全無料化（現物給付）を行うことを要請して下さい。
- 2 県下にさきがけて、霧島市単独の取組として窓口無料化（現物給付）を行うことの実現可能性について検討をおこなってください。

陳情の理由等

令和4年4月より沖縄県では、通院対象期間を中学校まで拡大し、中学校卒業まで窓口完全無料化（現物給付）を実施しています。

これにより、九州内で窓口無料化を実施できていない県は九州管内では鹿児島県のみとなりました。

子どもの医療費の負担軽減は疾病の早期発見や早期治療にとって不可欠なものです。支払った医療費が後日払い戻される現在の方法では経済的な負担感は消えません。本市では中学校卒業までの子どもの医療費が（一定の自己負担額がありますが）助成されています。また、市町村民税非課税世帯での高校終了年度までの医療費についても、こども医療給付制度が行われています。しかし、窓口負担がそのままでは、一時的とはいえ負担が生じます。

今日、ひとり親世帯をはじめ多くの子育て世代の生活困窮や子どもの貧困の深刻さが懸念されています。一部負担はたとえ少額であっても、特に生活困窮者にとっては受診の妨げになります。

子どもは病気にかかりやすく、抵抗力が弱いと重症化することも多くあります。子どもの病気の早期発見・早期治療を支え、すべての子どもの健やかな成長

を保障するために医療費の心配を無くすことは、ますます重要になっています。
少子化が進行する今日、子どもたちはまさに地域の宝です。

窓口無料化（現物給付）については本県を除く、九州内各県では、既に実施しているわけですから、鹿児島県でもできない道理はありません。

鹿児島県での子どもの医療費についての現在の窓口負担のあり方を変え、無料化（現物給付）を早期に行うことを強く求めるものです。

以上

<霧島市子どもの医療費窓口無料化を求める会>

会長	玉江 未広	(医師)	国分生協病院)
	立蔵 順子	(医師)	あんず東洋医学クリニック)
	岩谷 眞宏	(医師)	国分外科胃腸科)
	豎山 俊郎	(医師)	みみ・はな・のど としクリニック)
	碓元 直昭	(医師)	いかりこどもクリニック)
	高倉 玄太	(医師)	高倉眼科)
	吉野 光	(医師)	はやと整形外科分院)
	三輪 晋智	(医師)	三輪クリニック)
	植木 勲	(医師)	ふたばクリニック小児科皮膚科)
	加倉 秀章	(医師)	鶴木医院)
	笠毛 静也	(医師)	国分脳神経外科病院)
	田中 啓三	(医師)	田中内科消化器科)
	林 大輔	(医師)	はやし内科クリニック)
	原口 兼明	(医師)	霧島市社会保障推進協議会会長)
	山下 義仁	(医師)	国分生協病院院長)
	吉見 謙一	(医師)	国分生協病院)
	楠元 真由美	(医師)	国分生協病院)
	切手 純子	(看護師)	国分生協病院)
	槐島 洋子	(看護師)	国分生協病院)
	堀口 三枝	(看護師)	国分生協病院)
	平尾 裕子	(看護師)	国分生協病院)
	月野 淳子	(作業療法士)	国分生協病院)
	池田 英子	(鹿児島医療生協 理事)	
	堤 明美	(生協コープかごしま前副会長)	
	福田 愛	(雫ラボ)	
	吉野志津子	(ママエンジェルス)	
	西 律子	(ワーカーズコープ ほのぼの)	
	西 結依香	(ワーカーズコープ 国分敷根)	
	西 栄一郎	(ワーカーズコープ 国分敷根)	
	中島 洋子	(ワーカーズコープ ほのぼの)	

新徳 重子 (ワーカーズコープ ほのぼの)
瀬戸口麻弥 (ワーカーズコープ ほのぼの)
原田 真澄 (ワーカーズコープ ほのぼの)
森 みゆき (ワーカーズコープ ほのぼの)
池田 真己 (ワーカーズコープ ほのぼの)
久木元 優 (ワーカーズコープ ほのぼの)
坂元 里美 (ワーカーズコープ ほのぼの)
鈴木孝子 (霧島市国分清水)
山下里美 (霧島市国分中央)
野元里美 (霧島市隼人町)
柳田 幸代 (霧島市国分下井)
加治木嘉代子 (霧島市国分中央)
永倉 咲姫 (霧島市国分中央)
穂満めぐみ (霧島市国分広瀬)
伊藤 レイ子 (霧島市国分郡田)
平田 優 (求める会事務局)